

学校教育目標

学校図書館は、教育課程の展開に寄与するとともに、児童の健全な教養を育成することを目的とする。

- 考える子(確かな学力)
- 思いやりのある子(豊かな心)
- 元気な子(健やかな体)

学校図書館では、2冊貸し出し、朝読書の取組や図書委員会による休み時間の貸出を行っている。また、図書ボランティアによる読み聞かせや図書整備等も行っている。電算化され、読書量も増加しているが、調べ学習等で図書館を利用する機会は少ない。

学校図書館の目標

- 学校司書配置に伴い整備されてきた図書館環境を生かし、図書ボランティア、小岩図書館等との連携を深め、学校図書館の環境の充実、利用の一層の促進を進める。
- 図書ボランティアの方々による読み聞かせや小岩図書館との連携を通して、知的好奇心や創造力などを育み、本に親しむ子供を育成する。
- 今までの校内研究を生かし、「調べる学習」について、地域図書館等と連携しながら、さらに推進し、自ら調べ、考え、表現する子供を育成する

ねらい

- ① すべての児童がより一層本に親しみ、豊かな心情と幅広い知識を身に付ける。
- ② 学校図書館を活用した「調べる学習」のスキルを高め、各教科における図書館活用を推進する。
- ③ 多様な資料から目的に応じた情報を選び、課題解決を図り、情報活用能力を育成する。

指導の重点

- ① 担任、学校司書、図書ボランティアが連携し、教育活動全体を通して、計画的な読書活動と学校図書館の活用を推進する。学校司書等に指導・助言していただき図書館環境を充実させる。
- ② 学校図書館を活用した教科等の学習を充実させる。問題解決学習の中で、読書を通じた探求的な学習を生かしていく。

各学年の重点目標

第一学年	・読み物を楽しんで読もうとする。 ・図書館に親しんで利用できる。	第三学年	・様々な種類の本を読もうとする。 ・進んで図書館を利用して調べようとする。	第五学年	・読書を通して知識を増やし、心情を豊かにする。 ・目的に応じて図書館を適切に利用する。
第二学年	・読み物を進んで読もうとする。 ・図書の扱い方や借り方など正しく利用できる。	第四学年	・図書の幅を広げ、進んで読み、読書量を増やす。 ・調べたいことを図書館で意欲的に調べる。	第六学年	・適切な本を選んで読む習慣を定着させる。 ・学び方を身に付け、課題解決能力を高める。

具体的な取組

【各教科】

- 図書館の司書等と連携し、課題解決学習、調べる学習、グループ学習の場とする。
- 情報の収集、処理等、情報活用能力を養う。

【総合的な学習の時間】

- 自ら課題をもち、調べ考え、表現し交流し再考する活動を進める。探究的な学習を行う場として学校図書館を利用し図書を活用する。

【特別の教科 道徳】

- 図書資料を通して、様々な生き方や考え方に接し共感する中で、自己を見つめ、道徳的心情を育む。

【読書科】

- 「読み聞かせ」等で読書への意欲を高め、読書習慣や態度を養う。
- 図書館資料を活用した「調べる学習」を行い、整理・分析し、表現する力を養う。

【特別活動】

- 図書委員会を中心に、自発的・自治的に図書館を運営する。更に活用や工夫を考え、読書活動推進を行う。

【家庭・地域、区立図書館職員との連携】

- 月1回の図書ボランティアによる読み聞かせを行う。
- 学校司書と連携する。

朝読書・昼読書の推進

推進組織の検討・充実

図書館経営の評価

学校図書館環境の整備・充実